

18) 経堂・絵堂

経堂（きょうどう）と絵堂（えどう）は、太子奥殿の後ろにあります。

経堂には、『勝鬘経』『維摩経』『法華経』の三経、その注釈「三経義疏」などが納められています。

通常は閉堂していますが、10月22日の経供養の際には開堂します。

太子奥殿の左奥に経堂が見えます。

絵堂は、1983年（昭和58年）に完成したお堂で、洋画家・イラストレーターの杉本健吉により6年を費やして制作・奉納された「聖徳太子御絵伝障壁画」を、礼拝対象として安置しています。

太子奥殿の右奥が絵堂です。

こちらも通常は非公開で、毎月22日のみ、開堂します。

現在のお堂と壁画は昭和期のものですが、絵伝を見て絵解を聞き、聖徳太子の生涯に触れるということは、昔から行われていたと言われています。

絵解とは：

社寺の縁起や祖師の伝記・説話を描いた仏教絵画の解説。僧侶や、絵解を生業とする芸能者が絵解の語り役を務めます。

